

国 語

(2月7日)

開始時刻 午後1時00分
終了時刻 午後2時00分

注 意 事 項

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- この冊子は21ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
- 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
 - 受験番号欄
受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
 - 氏名欄
氏名とフリガナを記入してください。
- | | | |
|---|---|---|
| 三 | と | 四 |
|---|---|---|

 はいずれか一方を選択してください。両方解答した場合は高得点の方を合否判定に使用します。
- 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

 と表示のある問いに対して◎と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の◎にマークしてください。
(例)

10	Ⓐ	Ⓛ	Ⓔ	Ⓖ	Ⓔ
----	---	---	---	---	---
- 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

一 次 の 文 章 を 読 ん で、 後 の 問 一 ～ 八 に 答 え な さ い。

アニメの未来を考えると、やはり海外に眼を転じないわけにはいかないだろう。海外での日本のアニメ人気は、マスコミなどによってコトコト^アされすぎてきた。意外に売れていないのだ。

ただ、その売れていない理由は、アニメの人気そのものが影響しているのではなく、日本の送り手側が売るための手段を整備できていない面が大きい。それが逆に、海賊版の^(注1)跳梁^(注2)を許してしまっているというのが現状である。

どういふことかという、日本のアニメの知名度そのものは、そこに海賊版の影響があったとしても、すでに全世界的に広くシントウ^イしている。もはやアニメを世界に宣伝する段階は、「過ぎていく」ということだ。

X

、宣伝に多くの時間と資金を投入したとしても、これは無駄づかいになる可能性が高い。①

宣伝の次の段階は、言うまでもなく現地の人たちに「買ってもらう」ということだが、ここに、大きなハードルが立ちあがっている。アメリカや中国での事例で見えてきたように、アニメを売ろうとしても、例えば、放送局のチャンネルに入り込めなかったり、現地語の吹き替えなどの^(注3)ローカライズに多くの資金を要したり、国によってはインターネットの^ウキエウ率が低くて電子配信できなかったりなど、国ごとに環境が異なり、多国籍でのビジネスになりにくい現状がある。そして、こうした現状は、アニメ制作会社など、一企業の努力では到底変えようがない。②

結局、この現状をトータルに捉えて突破するためには、国の出番ということになるのではないだろうか。制作者・クリエイターの側は、国が関わることを批判の対象にしかできない人々もいるのだが、そうではなく、国でしかできない、もしくは国の関わりこそが効果的な領域もあり、国とうまく関わっていくことが必要である。

具体的には、国の関わりは、相手国のインフラ状況の対応など、一企業の努力では解決困難な領域や、海賊版の取り締まりを含む法整備のように国でしかできない領域にかぎり、作品制作そのものとは距離をおくべきである。

国が作品制作の資金を補助するといったことも、「作品制作に関わる」とことになるため、限定的に行なわれるふんには構わないが、それが行き過ぎてしまえば、必ずそこに利権構造が生まれる。③

海賊版の横行を抑える件のひとつを取ってみても、海賊版のデータをアップロードするサーバが日本国内にあれば、これは国が関与することがなくとも対応可能である。国外でも、例えばアメリカなどは、海賊版対策には積極的であり、違法アップロードサイトへの監視を強めている。こういった

国にサーバがあるのなら、問題は少ない。ところが、サーバが監視に消極的な国にあれば、そこにアップされた違法データを容易に削除することができなくなる。この場合、多国籍で条約や法令を結び協調することが必要となり、国の役割が具体的に求められる。
B 国で行なうべきこと、企業が行なうべきこと、クリエイターが行なうべきことといったように、それぞれに明確な役割分担を構築すべきである。その意味において、企業やクリエイター側は、国に対する

Y

 の姿勢を変えて、また「待ち」の姿勢、「乗っかる」という姿勢も変えて、自ら仕掛けていかなければならない。④
そして、「仕掛け」という意味では、これまでのように、国内で制作された作品を海外現地で売るといふことに加え、最初から海外向けにデザインされた作品を制作するということも、あきらめず継続していくべきであろう。

海外向け作品の制作・輸出については、一九九〇年代以降から幾度も試みられ、良好な結果を生み出せなかったために、興味が失われつつあるようだ。

Z

、国内市場では足りなかった上昇基調が見込めない以上、海外市場を無視しつづけることはできないはずである。
インドでは、「巨人の星」をベースにしたテレビアニメが制作・放映された。このインド版「巨人の星」でひと注目すべきは、作品の中で登場する物品や製品に日本企業のロゴなどが使用され、アニメ作品を売るとに加えて、広い意味で日本を売るという意図が盛り込まれている点である。アニメをきっかけにして、現地からの、日本を買い、日本を目指すという動きの形成を意図しているのである。⑤
「クルジャパン」を有効なものにするためにもこのように、有効なものにしていかなければならないと筆者は考えるが、それには、「待ち」に徹していると、ますます手遅れになるばかりであろう。
現時点において、実際の売り上げや利益の問題はさておき、日本のアニメが世界で強力なブランド力を得ていることを十分に踏まえるべきではないか。それを現地で売って正当な資金を回収し、かつ現地から日本を目指す日本に合わせるという流れの構築に、つなげていかなければならない。
(津堅信之「日本のアニメは何がすごいのか」による。設問の関係上、本文を改めたところがある。)

(注) 1 海賊版——著作権者の許可を得ないで複製・販売される書籍、音楽、映像などをさす。

2 跳梁——好ましくないものが、のさばりはびこること。

3 ローカライズ——外国で使用するよう、製品や作品の表示を、現地語に翻訳すること。

4 アップロード——利用者のコンピュータからサービス提供者のコンピュータへデータを転送すること。

5 クルジャパン——海外でクル(かっこいい)と捉えられている日本の商品・サービス・文化の総称。

問一 傍線部Aの漢字と同じ漢字を用いるのを、次の各語のⒶ～Ⓔから、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

アが

1

、イが

2

、ウが

3

。

ア コチウウ
転校後、友達ができずに、コドクだった

イ シントウ
楽しかったコドモのころを思い出す

ウ フキエウ
新しく覚えた技をコジする

エ コトコト
足が動かないように、コテイした

オ クルジャパン
深コエウをすると、リラックスできる

カ フクツの精神で乗り越えた

キ チンブな表現だ

ク ホウフな資源に恵まれた国

ク その理論は、フヘン性が高い

ケ アニメを海外で売るための手段の未整備。

コ 海外で日本のアニメの存在を知ってもらうための宣伝不足。

コ 輸出先の国や地域の言語に合わせて、翻訳や吹き替えを行うための資金不足。

コ インターネット環境が異なる国や地域で対応する難しさ。

コ 日本のアニメを海外の放送局に売り込む上での困難。

問二 傍線部Aのつづいた現状の内容を説明したものとして適切でないものを、次のⒶ～Ⓔから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

4

。

ア アニメを海外で売るための手段の未整備。

イ 海外で日本のアニメの存在を知ってもらうための宣伝不足。

ウ 輸出先の国や地域の言語に合わせて、翻訳や吹き替えを行うための資金不足。

エ インターネット環境が異なる国や地域で対応する難しさ。

オ 日本のアニメを海外の放送局に売り込む上での困難。

問三 文中の空欄 X と Z に入る接続詞の組み合わせとして、最も適切なものを、次の㉔～㉙から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 5。

- ㉔ X たとは Z また
㉕ X そして Z したがって
㉖ X したがって Z しかし
㉗ X とところが Z そして
㉘ X しかし Z たとは

問四 傍線部 B の国で行なうべきことに該当するものとして、最も適切なものを、次の㉔～㉙から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 6。

- ㉔ 作品制作の資金補助
㉕ 日本アニメの宣伝
㉖ 現地語への吹き替え
㉗ アニメでの日本企業製品の使用
㉘ 海賊版対策

問五 傍線部 C の仕掛けることは、どのようなことか。その内容を詳しく説明したものとして適切でないものを、次の㉔～㉙から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 7。

- ㉔ 海外で、日本にあげられ、日本に来る観光客を増やす。
㉕ 国内市場を優先し、アニメの制作者やクリエイターの自由を任せる。
㉖ 日本や日本企業のイメージを高める努力をする。
㉗ 「クールジャパン」を有効なものにするために、国、企業、クリエイターが協力する。
㉘ 海外向けにデザインされた作品を制作する。

問六 文中の空欄 Y に入る言葉として、最も適切なものを、次の㉔～㉙から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 8。

- ㉔ 疑心暗鬼
㉕ 一石二鳥
㉖ 相思相愛
㉗ 四面楚歌
㉘ 一朝一夕

問七 本文は、大きく前半と後半に分かれる。前半の最後は㉔～㉙のどこか。次の㉔～㉙から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 9。

- ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙

問八 本文全体を通して、その内容や筆者の考えを説明する文として適切でない文を、次の㉔～㉙から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 10。

- ㉔ アニメの制作者やクリエイターには、「クールジャパン」などの形で国が関わることに批判的な人がある。
㉕ 海外では、日本のアニメは人気がないので、アニメ制作を積極的に宣伝することが国の役割だ。
㉖ 日本のアニメは世界で人気があるので、その強力なブランド力を日本や日本企業の活性化に役立てるべきだ。
㉗ 日本のアニメは、海外ではマスコミで紹介されるほどは売れていない。
㉘ 海賊版対策には、多国間で条約や法令を結び、協力することが必要であり、国の関与が不可欠だ。

◇M4(852-47)

— 4 —

◇M4(852-48)

— 5 —

三 次の文章は、本谷有希子の小説異類婚姻譚の部である。主人公の「私(サちゃん)」は、パソコンに溜まった写真を整理していて、偶然自分の顔が旦那(夫)の顔にそっくりになっていることに気付く。そのことを同じマンションの住人の「キタエさん」に話すことにする。これを読んで、後の問い七に答えなさい。なお、設問の関係で本文を改めたところがある。

「旦那と顔が一緒になってきました。」
「サちゃん、なんかももしろい話なの、と聞かれ、私はすっかり忘れていたあの写真のことをなんとなく口にした。つまらないと蹴されるかと思つたが、キタエさんははたは旦那がわりにしていた手を止めて、「やだ」と W の食いつきを示した。
「サちゃん、結婚して何年だっけ？」
「もうずう四年です。」

「私さあ、サちゃんとは知り合つてそんな経つてないから分かんないけど、気を付けたほうがいいよ。サちゃんみたいな、なんでもかんでも受け入れちゃうような子は、あつという間に……かれちゃうんだから。」
ウツデッキを走り回っていたコーギー犬が驚いて吠えて、「……」のところが聞きとれなかった。言い直してくれないかと期待したが、キタエさんは前髪を持ち上げ、またはなはたとせわしなく手巾扇をしている。
「写真、今度見せてくれる？」
「あ、はい。」

それから、キタエさんはその話にはもうすつかり興味がなくなつたようにカートを引き寄せ、飼っている子犬の顔をくすぐり始めた。そろそろ頃合いかと、私が立ち上がるタイミングを計っていると、キタエさんはカーットの背中のポケットから、今度は小分けされたビスケットの袋を取り出した。「私の知り合いの夫婦にさあ。」
はい。相槌を打って、私は慌てて静かしかけていた腰をベンチに戻した。キタエさんがビスケットを砕きながら教えてくれたのは、こんな話だった。

あるところに夫婦がいた。といつても、キタエさんは顔も名前もちゃんと知っている。古くからの友人夫婦である。家族ぐるみで親しくしていたのだが、キタエさんがサンフランシスコに越してからにはなかなかタイミングが合わず、十年近く経つた頃、ようやく再会する機会に恵まれたのだった。

十年のあいだに、その夫婦はイギリスに移り住んでいた。ロンドンで食事の約束をし、待ち合わせのレストランに到着したキタエさんは「久しぶり。」と椅子から立ち上がった二人を見た瞬間、目を疑つた。
「双子みたいに、そっくりになつてたのよ。」
その時の光景を思い出しているのか、キタエさんは目を瞑つたま話を聞いた。

もともと少し似てたんですね。私は尋ねた。
「うっん、それがさ、ぜんぜん似ても似つかないの。だから、私も一瞬、整形でもしたのかと思つちやつてさあ。」
食事中、キタエさんは二人に気付かれないように、夫婦の顔を何度もちらちらと見比べ続けた。歳を取つたせいだろうかとも思ったが、それだけでは納得のいかない似方である。

X 「これがまた不思議なのだが、目、鼻、口を一つ一つ見ていくと、二人はやはりきちんと別人なのだ。ところが、全体としてとらえ直した瞬間、なぜか鏡に映つたようにイメージが重なり合う。まるで騙されているような気分で、キタエさんは落着きながら。」
「食べ方とか、雰囲気、ですかねえ。」
差し出されたビスケットを受け取って私が聞くと、キタエさんは、うーん、と首を捻りながら、「それもあるのかもしれないけど、もつとなんか、こう、吸い寄せ合つてる感じがするの。お互いがお互いを真似ちやつていうかねえ、と周を寄せた。」

Y 「驚いたのは、昔はあれほど大嫌いだつたカキやロブスターを、妻が美味しい美味いといとんと口にしてたことだつた。キタエさんの記憶では、それはすべて夫のゴキブリだつた。さりげなくそのことを伝えると、妻は「ええ? そだつた?」と目を丸くし、しばらく考えてから、「そんなことないよ。あたし、昔からカキ好きだつたわ。」と夫のほろを覗き込んだ。
「ねえ。」

Z 「誰の夫も、その通りだ、と深々と同意するのだ。」

結局もやもやしたものが晴れないまま、キタエさんたちは食事を終え、タクシーを捕まえるため大きな通りまで三人で歩いた。
今後はもつとロンドンに会わうって約束したんだけどねえ、と言いがら、キタエさんはビスケットの欠片をその犬の鼻先に近づけた。駄目だったんですか? うん駄目だった。次の再会も、さらに十年後になつちやつた。

同じロンドンのレストランで待ち合わせしたキタエさんは、鏡のようにそっくりになつてた一人のことを思い出し、少しどきどきしながら、夫婦の姿を捜した。椅子から立ち上がったこちらを振り返る二人を見つけた時、キタエさんは思はず、あれ? と呟いてしまった。少し遠目からでも、彼

◇M4(852-49)

— 6 —

◇M4(852-50)

— 7 —

らが元の、似ても似つかぬ他人に戻っていることが、すぐに分ったからである。
「ちよっとだけ、拍子抜けしちゃった。」

キタエさんは、子犬が見向きもしなかったバスケットを自分の口に放り込みながら、そう言った。

「だって、もつと似てたらしいのにつて、どうかで期待してたんだもん、私。」

食事が終わって店を出た三人は、またタクシーを捕まえて通りまで歩いた。先を歩く夫の背中を見ながら、キタエさんは急にが込み上げてきて、この十年自分の中でもやもやしていたことを妻に打ち明けた。ほんと、十年前のあれ、なんだったのかね。気のせいだったのかあ。

もう少し飲み直そうと二人の家に誘われ、ワインを一緒に酔い潰れていた時、「ね、キタエちゃん、ちよっと庭に出てみない？」と妻が言い出した、妻とキタエさんは二人で三本目のワインを空にし、夫はこつと酔い潰れていた。

「家中に飾られた石ころを、ずいぶん変わった趣味だ、と思いついていたキタエさんは立ち上がり、ふらふらと妻の後を付いていった。自然の草花を生かした丁寧な造りのブリティッシュガーデンを、妻は月明かりだけで進み、池に掛かった小さな橋を渡る。しばらくしてようやく、サルビアの咲く花壇の前で立ち止まった。

「キタエちゃんにだけ、どうしてあたしが元に戻ったのか、教えてあげるね。」

ワインがすっかり回ったのか、妻は笑いを堪えているような口調で言った。

「何よ、なんのこと、キタエさんは聞き返した。

「だから、あたしがどうして戻れたのか、知りたいでしょう。」

妻は続けて、それよ、それ、と足元の花壇の脇を指差した。

「石？」

キタエさんは目を凝らしながら、そう聞き返した。月明かりに照らされた花壇に、家中のあそこちで見かけたような華やかな石ころが転がっている。

「そう、それをねえ、あたしの代りにしちゃったんだ。」

妻は、ひとつ拾い上げてみるようにキタエさんに勧めた。キタエさんは訝りながらもしがみ込み、手近な石を拾い上げた。部屋に並べられていたのと同じ、少しゴツゴツした形のなんの変哲もない石である。

「これが何よ。」

キタエさんが嫌れを切らして思わず尋ねるともつと、よく見て。」と妻は言ったのだ。

「じつと見ると、ほんとに、そっくりなんだから。」

「そっくりって何に」

分かるから、見てよ。

仕方なく立ち上がったキタエさんは、石を月明かりにかざしてみた。からかわれているのだからと呆れ半分だったが、角度を少し変えた次の瞬間、酔いが一気に吹き飛んだ。

問一 傍線部A～Uと同じ漢字を用いるものを、次の各群の①～⑤から、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号はアが

11. 12. 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

11. イが 12. ウが 13.

◇M4(852—51)

— 8 —

◇M4(852—52)

— 9 —

問一 傍線部A～E置かれるのあらわす意味に最も近いと思われる熟語を、次の①～⑤から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

14.

◇M4(852—53)

— 10 —

◇M4(852—54)

— 11 —

問七 本文の特徴として適切でないものを、次の①～⑤から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

19

- (a) 一人称の語りによるモノローグ風の文体を基本とするが、そこに様々なレベルの語り¹⁾が重層的に入り込んでいる。
 (b) 冷静な観察眼で、人間の意識や周囲の物事を淡々と描き出している。
 (c) 全体に歯切れの良い文体で、簡潔に要点をまとめてあげている。
 (d) 文末表現は過去形を中心としており、客観的な印象を与える文体である。
 (e) 日常語を中心にした親しみやすい文で、読者に語りかけるような文体である。

◇M4(852—55)

三 次の文章を読んで、後の問一～九に答えなさい。

月のさしのほころ。明ほの空おぼえて、横雲のたなびきたるに、やや匂ひをそめたれど、遠山の梢にいさよよて、姿も見えず、からうじさしの
ほりけり。相のさしほしほしうちまゐるに、いつしか雲の一つ出て來たるが、近寄るほどあやに、月の方より雲のうへへかゝるやうに見ゆ。
雲のかにせんしほしうちまゐるに、雲の端のかた、あかちや見るに、そ、出て離れたらば、あかからん隙はあらうと思ふに、いつのまにか、また白
雲の、月待ち顔たなびて見ゆれば、胸のうちふれてうち見ゆるに、初めの雲のうへへ出て、こととさやけし。かの侍のちたる
雲の、月待ち顔たなびて見ゆれば、胸のうちふれてうち見ゆるに、初めの雲のうへへ出て、こととさやけし。かの侍のちたる
雲に向かへ、また馳せ入るものとすし、月の入りて見れば、雲もさすがにたからず、こゝかしこにそれ、影影見ゆるに、ひたすらにちみちみ
はてで見てゐるうちに、衣手よりめり行きて、露も虫の音もさかたりなりけり。つくづくと向かひ居たれば、心の勝てなきやうに、こゝかしこにそれ、影影見ゆるに、ひたすらにちみちみ

問八 傍線部G「面影」とは何のことか、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 27。

㉔ 月 ㉕ 栢 ㉖ 空 ㉗ 雲 ㉘ 虫

問九 傍線部H「覚えしか」の文法的説明として最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 28。

㉔ ヤ行下「段活用動詞」覚ゆの連体形＋完了の助動詞「き」の已然形
㉕ ワ行下「段活用動詞」覚うの連体形＋過去の助動詞「し」の已然形
㉖ ハ行下「段活用動詞」覚ふの連用形＋完了の助動詞「き」の連体形
㉗ ワ行下「段活用動詞」覚うの連用形＋過去の助動詞「し」の連体形
㉘ ヤ行下「段活用動詞」覚ゆの連用形＋過去の助動詞「き」の已然形

四 次の文章を読んで、後の問一～八に答えなさい。（設問の関係上、返り点、送り仮名を省いたところがある。）

寧王常胤於鄂界。搜林、忽見草中一櫃。局鎖甚固。王命發視之。乃一少女也。問其所以。自言「姓莫氏。叔伯莊居。昨夜遇火光賊。賊中二人是僧。因劫某至此。」含咽治態。橫生王驚。悅之。乃載以後乘。

時慕犖者方獲一熊。置櫃中。如旧鎖之。

時上求極色。王以莫氏衣冠女。即日表上之。具其所由。上令充才人。

絲三日。京兆奏。鄂界食店有僧二人。以錢一萬。獨賃店。一日一夜。言作法事。唯昇一櫃入店中。夜久。膈膊有聲。店戶人怪。日出。不啓門。撒戸視之。有熊衝人走出。（F）已死。骸骨悉露。

上知之大笑。書報寧王云、「寧哥大能。処置此僧也。」

（段成式「酉陽雜俎」卷十二「語實」）

（注）1 寧王——李憲。玄宗の兄。ここでの「上」は玄宗を指す。
2 鄂界——唐代の県名。長安の南西にある。
3 櫃——ふたのある箱。ながもち。次の「局鎖」は、くさりのカギ。
4 火光賊——盜族の名。たいまつを持って押し込むことで、当時有名であった。
5 含咽治態——「咽」は美女が眉をひそめるさま。ここでは美女のなまめかしい様子。
6 慕犖——人の名。
7 衣冠女——讀書人階級の身分のある女性。後の「才人」は、女官名。
8 膈膊——どたんばたという音。

問一 波線部A「自の就みとして、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 29。

㉔ みづからの
㉕ おのづからの
㉖ より
㉗ よる
㉘ もちぬる

問二 傍線部B「某の解釈として、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 30。

㉔ 寧王
㉕ 一少女
㉖ 叔伯
㉗ 火光賊
㉘ 二人僧

問三 傍線部C「横の解釈として、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 31。

㉔ よこさまに
㉕ よこになつて
㉖ 通りぬけて
㉗ よこしまに
㉘ あふれるばかり

問四 傍線部D「極色」の解釈として、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 32。

㉔ 極端な色
㉕ きわだつた表情
㉖ すばらしい美女
㉗ まぶしい光沢
㉘ 腹を立てた顔

問五 傍線部Eの返り点と書き下し文の組み合わせとして、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 33。

- ㉔ 上令充才人
上令 才人に充つ
㉕ 上令充才人
上 充つるに才人にす
㉖ 上令充才人
上 才人に令充す
㉗ 上令充才人
上 才人に充てしむ
㉘ 上令充才人
上 才人に充て合む

問六 空欄（F）に入る語として、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 34。

- ㉔ 寧王
㉕ 一少女
㉖ 二人僧
㉗ 熊
㉘ 店戸人

問七 波線部Gの露の読みとして、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 35。

- ㉔ つゆおく
㉕ はかなし
㉖ あらはる
㉗ つかるる
㉘ わづかなり

問八 傍線部Hの解釈として、最も適切なものを、次の㉔～㉖から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 36。

- ㉔ この僧を供養した。
㉕ この僧を死刑にした。
㉖ この僧をもてなした。
㉗ この僧の僧籍をなくした。
㉘ この僧を遠方に流した。

◇M4(852—63)

— 20 —

◇M4(852—64)

— 21 —